

ビール粕発酵混合飼料 雪印「TMウエット」の優良使用事例紹介

雪印種苗(株) 飼料部

生産管理課長

佐藤 洋

1 はじめに

本誌平成8年8月号にビール粕発酵混合飼料、雪印「TMウエット」の紹介をさせていただきましたが、今回は実際に利用されている酪農家さんを取材させていただきましたので、ここに紹介させていただきます。

2 雪印「TMウエット」とは

ビール工場から出たばかりの生ビール粕とケイソップ(さとうきび梢頭部)、カカオ豆殻を混合し、嫌気性発酵(サイレージ化)させたものです。

3 飼料的特長

飼料成分としては表1に示しますように、一般のルーサン乾草やイネ科乾草並みの繊維含量があり、ルーサン乾草並みのたんぱく質も含んでいます。

水分が60%とサイレージ発酵に適した水分にしており、乳酸発酵による有機酸生成量は1%前後で酪酸発酵はみられず、pHが4.0前後の非常に品質の安定した、良質なサイレージとなっております。ですから、飼料成分及び発酵品質の面から、まさに、良質の牧草サイレージとも言えます。

4 優良使用事例

現在、「TMウエット」を利用いただいている地域(関東、岡山地区)の中から2件の紹介を



写真1 TMウエット飼料

させていただきます。

1) 佐久間秀夫牧場(千葉県安房中央酪農協管内)

佐久間牧場では、平成4年当社が「TMウエット」を製造販売し始めてから今日まで、長い間愛用いただいている酪農家さんです。

経営概況は表2にまとめてみました。佐久間さんには後継者がいなく、現在本人、奥さんと2名の雇用人の計4名で約70頭の乳牛を飼養しています。

佐久間さんは新しい技術に積極的に取り組む姿勢と労働力の面から、粗飼料、育成牛は購入し、濃厚飼料の給与は自動給餌機の利用と、省力化を徹底して酪農経営に取り入れています。

当社「TMウエット」の利用の動機は上記の考え方と同時に、乾草類の品質の不安定さ及び夏季の食い込みの低下により、乳成分(乳脂肪)の低下に悩んでいたことであったようです。

表1 「TMウエット」の分析値

乾物	粗たんぱく	粗脂肪	ADF	NDF	NSC	Ca	P	TDN
40.0	15.4	5.7	36.0	56.7	13.9	0.30	0.33	61.4

注) サンプル数8の平均値、平成3年～4年分析。

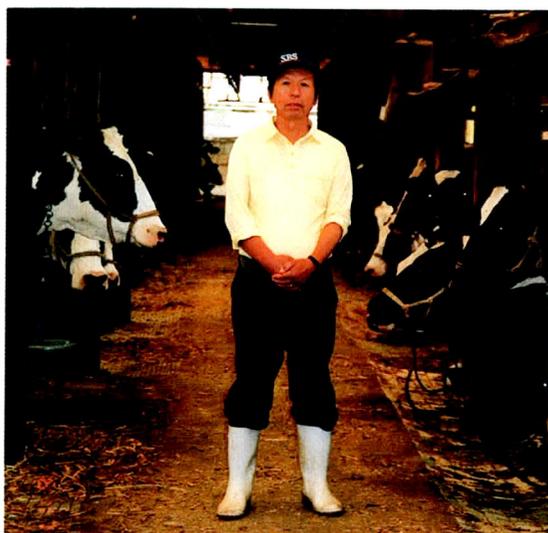


写真2 佐久間秀夫氏

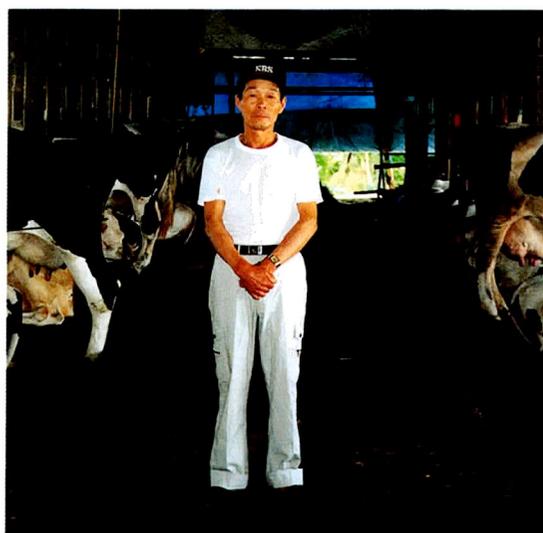


写真3 小童谷憲治氏

表2 両牧場の経営概況

	佐久間牧場	小童谷牧場
労働力(名)	4(内2名雇用)	2
飼養頭数(頭)	71	38
出荷乳量(t) (平成8年度)	500	250
給与方法(濃厚飼料)	自動給餌機(1日6回)	自動給餌機(1日6回)
粗飼料	購入	購入
育成牛	導入	導入
堆肥処理	発酵堆肥販売	業者に依頼

表3 両牧場の給与メニュー

(1頭当たり)

品名	佐久間牧場	品名	小童谷牧場
中御典(kg) (粗飼料入り配合)	15	ホクラク2号(kg) (P&Fタイプ配合)	最大8
S C 76(kg) (高たんぱく, 高エネルギー)	最大4	ビートポップ(kg) (ビートパルプ主体配合飼料)	6
TMウエット(kg)	8	TMウエット(kg)	5
オーツヘイ(kg)	4	スーダン乾草(kg)	5
		ワラ(kg)	若干量

つまり、品質の安定しない粗飼料の給与及び夏季の食い込みの低下を改善する必要があったわけです。「TMウエット」はサイレージ飼料であり、なおかつ、品質が一定しているため、夏季でも食い込みが良く、ルーメン発酵を安定化させるため、ほかの粗飼料の食い込みも良くなることは、当社でも飼養試験で実証されていたので、積極的にお勧めした経過もあったようです。

実際に給与し始めてからは、①ほかの粗飼料の食い込みも良くなった。②その結果悩んでいた乳脂肪の低下も防止された(「TMウエット」を利用してからは夏季の乳脂肪低下のペナルティがほとんど無くなったとのこと)と、その効果を認めていただいております。佐久間さんにとってはなくてはならない粗飼料のようでした。

近郊酪農家の中には、従来の佐久間さんと同様

に夏季の乳脂肪の低下に悩んでいる酪農家さんもあり、乾草を細断して給与している人もいますが、労力面及び効果面から積極的に近郊酪農家に「TMウエット」を紹介していただいております。

参考までに現在の給与メニューを表3に示しておきます。

また佐久間さんは、堆肥の処理をシメジの残査を利用し、発酵させ堆肥化しており、近郊の花農家に供給しておりますが、地域の環境全体を考えて、現在、共同で堆肥化処理できる設備の検討グループの中心となって活躍しております。

2) 小童谷憲治牧場 (岡山県ホクラク農協管内)

小童谷牧場は岡山県(津山)で「TMウエット」の生産販売を開始した平成8年春から利用していただいております。約1か年が経過しております。



写真4 T.M.ウエットのトランスパック

経営概況は表2にまとめてみました。小童谷さんも後継者がいなく、現在本人、奥さんの2名で約40頭の乳牛を飼養しています。

小童谷さんは「自分の時間を大切にしたい」との考えと、労働力の面から自給飼料の生産中止、育成牛の購入と、酪農形態を変化させてきており、濃厚飼料の給与も3年前より自動給餌機を利用して、佐久間さんと非常に似た酪農経営を行っています。

当社「T.M.ウエット」の利用の動機は、労働力の面から自給飼料の生産、給与を中止した平成8年の春に、乾草1本の粗飼料体系では夏季の食い込み減少、乳成分（特に乳脂肪）低下に不安をかかえており、飼料の品質が安定し、食い込み向上が期待できる粗飼料を求めていたことにあったようです。

自給飼料（主にイタリアン）を給与していた時期にも品質が安定しないことから、夏季の食い込

みが低下し、乳脂肪も不安定であったようですが、「T.M.ウエット」を給与し始めた昨年の夏季は、食い込みも順調で乳脂肪も前年に比べ0.1%程度高く推移し、本人も品質の安定性と食い込み向上の結果とに高い評価をしてくださいました。

参考までに現在の給与メニューを表3に示しましたが、本人は粗飼料の補給という考え方のほかに、ルーメン発酵を安定化させる材料としてとらえているようでした。

また、現在全国的に問題となっている堆肥の処理についても共同の堆肥置場を有し、処理は全て業者が無料で行なっており、自給飼料の生産中止も無理なくできたとのことで、その点非常に恵まれた環境にありました。

5 おわりに

今回紹介させていただいた2戸の酪農家に共通しているのは、①労力面で無理をしない。②自分の時間に余裕を持つといった、酪農に対する姿勢でした。そして、飼養している乳牛が健康であることが、労働面だけではなく、心の余裕をも持たせてくれるのだと改めて考えさせられました。

2戸の酪農家は後継者のいない条件下の中で、自給飼料を作る労力的余裕がなく、購入粗飼料中心のケースでの「T.M.ウエット」の利用例でありましたが、自給飼料を利用している酪農家にとっても、発酵品質が不良の場合などの利用範囲は広く、「T.M.ウエット」の特長を充分理解された上で、酪農経営の改善の一助に利用していただければ幸いです。

尚、今回取材させていただきました佐久間、小童谷両氏に心から感謝申し上げます。

あなたの牛舎におきます!?

今、「地球環境にやさしい」畜産経営も求められています。

スノーエックス

(土壌微生物発酵飼料・混合飼料)



SNOW X SYSTEM

- スノーエックスは、家畜の腸内微生物を良好にコーディネートします。
- スノーエックスでコントロールされた糞は悪臭がほとんどなくなるため、家畜を悪臭ストレスから守り、畜舎環境を改善します。
- スノーエックスを給与した糞は極めて分解が早く、繰り返し作業を節約して、短時間で良好な完熟堆肥になります。